

みんゆう 随想

南アルプスとは対照的に北アルプスの人気は凄い。駐車場探しに一苦勞し予定よりの3時間遅れて標高差1800級の笠ヶ岳(岐阜県高山市)を目指し、新穂高温泉を午前8時に出発した。(9月22日)

整備されている川沿いの林道を、左に笠ヶ岳からの第一、第二、第三尾根を間近に眺め自然の素晴らしさに感動しながら登山口に到着。ここから登山者泣かせの笠新道の急登が始まる。

つづら折れを数えることにし、間違わないよう右手が沢側にきたら偶数、小さ

渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング 取締役会長



いのは除き19でカウントダウン。やがて沢の音が聞こえなくなったら、北穂方面に飛ぶヘリの爆音、暫くして6時離れたジャンダルの方から落石の音が聞こえに聞こえた。間のあるテンプからして相当大きいのが断崖から落下していると

さいと保存食のパイヤ、ピーナツ、サラミなどを有している様子も伝わってきた。もう少しお話をしたかったのに彼女は足早に降ってしまった。高度をかき何時しか樹林帯から低木に変わって展開が開けてきた。同伴の安齋取り「まだまだ遠いなー」さんと登山靴を履かせた責と、地図を見ながら山頂までのコースを辿った。

山に魅せられて(23)

想像し、槍から穂高を一人で縦走したときの光景を思い出して身震いがした。

福岡から来たと言う20代前半のアイドル歌手のように、表情と人柄が素晴らしく気立てのいい娘さん。この爺さん大丈夫かな?と心配してか「私はもう少しで終わるだから頑張って下

任者として、何時かは必ずら歯を食い縛り切り切ると、双六岳からの主稜線にいたのがこの絶景だ。左合流。疲れも忘れ快適な尾根歩きが始まった。通常前から小槍、槍ヶ岳、大喰岳、中岳、南岳、大キレットから北穂高岳、濁沢岳、奥穂高岳、ジャンダルムから西岳、焼岳と得意げに説明すると、疲れ切った表情に飛び込み宿泊受け付けから笑顔が戻ってきて、口たのは午後4時半すぎだ。